

平成30年度の地方創生関係事業の評価について

- ・国は全国で地方創生の取組を推進していくため、自治体が地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた自主的・主体的かつ先導的な事業を実施する際に、活用することができる交付金制度を設けています。
- ・本市は、制度が創設された当初からこの交付金を活用した事業を実施しており、これらの事業については、外部有識者を含む機関による効果検証が求められていることから、毎年度、総合計画審議会のご協力をいただき、評価を行ってきています。
- ・今回の評価対象は、平成30年度に実施した事業です。

国の交付金の名称			本市の取り組み			
年度	名称	率	名称	概要	事業費 (千円)	交付額 (千円)
平成28年度 (実績)	地方創生加速化交付金	10/10	①産業用ロボット導入支援加速化事業	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・生産性向上、自動化などのセミナー開催 ・産業ロボット導入支援	2,769	2,769
	地方創生推進交付金	1/2	②首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト(1/5) ※相模原市と連携	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・展示スペースの設置	2,681	1,340
平成29年度 (実績)	地方創生推進交付金	1/2	首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト(2/5) ※相模原市と連携	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・生産性向上、自動化などのセミナー開催 ・産業ロボット導入支援(コンサルティング) ・展示スペースの設置	6,657	3,328
平成30年度 (実績)	地方創生推進交付金	1/2	首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト(3/5) ※相模原市と連携	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・生産性向上、自動化などのセミナー開催 ・産業ロボット導入支援(コンサルティング) ・展示スペースの設置	6,978	3,399
令和元年度 (見込み)	地方創生推進交付金	1/2	首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト(4/5) ※相模原市と連携	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・生産性向上、自動化などのセミナー開催 ・産業ロボット導入支援(コンサルティング) ・展示スペースの設置 ・システムインテグレータ(Sler)※育成プログラム ※ロボットを使用した機械システムの導入提案・設計・構築等を行う者	10,381	5,190
令和2年度 (見込み)	地方創生推進交付金	1/2	首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト(5/5) ※相模原市と連携	【目的】 産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。 【内容】 ・生産性向上、自動化などのセミナー開催 ・産業ロボット導入支援(コンサルティング) ・展示スペースの設置 ・システムインテグレータ(Sler)育成プログラム ・システムインテグレータ(Sler)育成OJT事業※ ※実際の中堅・中小企業の製造現場を活用し、SlerのOJTを行う事業	20,300	10,150

※ 点線で囲っている部分は5年間継続して実施する事業です。